

第2回 ジブリパーク構想地域連携協議会 議事概要

日 時：2021年3月29日（月）午後4:30～5:15

場 所：本庁舎6階 正庁

<開会>

【司会（愛知県政策企画局長）】

それでは、定刻となりましたので、「第2回ジブリパーク構想地域連携協議会」を開催いたします。

本日は、皆様、年度末のお忙しい中、御出席賜り、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、愛知県政策企画局長の野村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は新型コロナウイルスの感染防止のため、発言時も含めマスク着用をお願いしたいと存じますので、御承知おき願います。

それでは、開会に当たりまして、本協議会の会長であります大村知事より御挨拶を申し上げます。

<挨拶>

【愛知県知事】

皆さん、こんにちは。愛知県知事の大村秀章です。「第2回ジブリパーク構想地域連携協議会」の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、年度末の御多用の中、御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。こうしてジブリパーク構想地域連携協議会を名古屋から万博公園の沿線市の皆様方、そしてリニモ、愛知環状鉄道の皆様方とつくらせていただいて、着々と建設していくジブリパークの下、地域全体を盛り上げる、そして、その後で、地域全体を世界中から来られる皆様をどうおもてなしをするかを考えていきたいということで、まだまだこれからもお知恵をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて、ジブリパークの整備につきましては、全体5エリアを2022年秋に先行して開業する、「青春の丘」、「ジブリの大倉庫」、「どんどこ森」の3エリアと、おおむねその1年後の開業を目指しております「もののけの里」、「魔女の谷」の2エリアに分け、それぞれ進めているところでございまして、今年度末時点での事業費ベースの進捗率は約11.6%ということでございます。

来年度は整備費として、さらに約121億円を計上しております。先行3エリアにつきましては、2022年2月の整備工事完了を目指すとともに、展示・演示工事も行っておりまして、最初の3エリアは来年2月で建物が出来てしまうということですので、着々と進めてまいります。そして、残りの2エリアにつきましても整備工事に着手するとともに、展示・演示計画を検討してまいります。

これにより、来年度末時点での事業費ベースの進捗率は、5エリア全体で約47%

と、丁度半分くらい出来るということでございまして、特に3エリアでは約79%に達する予定です。この2021年度は着々と姿形が見えてくるということで大いに期待していただければと思います。開業に向けて着実に整備が進められるよう引き続き努めてまいります。

また、ジブリパークの5エリアの整備と連携し、公園の北エントランスや休憩所、園路等の整備を進め、新たな駐車場も整備いたします。

さらに、公園周辺の道路について、交通渋滞緩和に向けた工事等を実施することとしております。

ジブリパークは愛知だけのプロジェクトではなく、日本全体のプロジェクトです。2022年秋に開業した際には、世界中から多くの人々を惹きつける、大変魅力ある観光コンテンツとなり、内外から多くのお客様を当地域にお迎えすることとなります。

この夢のプロジェクトの成功に向けまして、当協議会を通じて、公園周辺の自治体の皆様や公共交通を担う鉄道事業者の皆様と県が緊密に連携、協力し、地域の魅力発信やにぎわい創出など、さらなる地域活性化を目指してまいります。これにより、大きなインパクト、相乗効果が生み出されると考えております。

この観点から、一昨年12月に協議会を設立して以降、その下に設置した運営会議を昨年3月、7月、12月の3回にわたって開催し、皆様からのアイデアをいただき、本協議会として取組を進めるべき事項を協議してまいりました。

本日は第2回の協議会として、これまでの運営会議の検討結果に基づき、協議会の今後の具体的な取組の内容について報告させていただき、御意見をいただければと思います。

ジブリパークの開業まであと2年足らずとなりました。協議会としての取組もますます加速させていかなければなりません。本日の会議が実り多きものになるよう、お願い申し上げたいと思います。

なお、今日先ほど中部空港二本目滑走路建設促進期成同盟会が愛知県内であり、国土交通副大臣に要請させていただきました。今は大変厳しい状況ですが、年内にはだいたいワクチンが行き渡るのではないかと思います。

今、世界的に家計の貯蓄の調査が行われていますが、それによると普段の何倍も過剰貯蓄が貯まっている。ですから、コロナさえ収まれば消費も旅行も爆発するのではないかとと言われております。私もそうなると思います。今年さえ凌げば来年以降は消費も旅行も爆発するのではないかと。そうすると、2022年秋のジブリパークの1期開業というのは、丁度そのタイミングにどんぴしゃではないかと思っております。

一昨日の土曜日に、万博担当の井上大臣が愛・地球博記念公園を視察し、空飛ぶクルマのスカイドライブを視察されまして、私と面談しました。2025年の大阪・関西万博のときにはジブリパークは全部出来ており、また、(愛知)万博10周年の2015年に都市緑化博とジブリの大博覧会を開催し、そのご縁で今ジブリパークに繋がっているのです。2025年の(愛知)万博20周年のときには何かやらないといけななと思っておりますが、ジブリパークを核にして色々なことが出来ますので、また

賑わいが広がっていくのではないかと思います。それも含めて今日は皆様から忌憚のない意見をいただき、さらにジブリパーク構想を前進させていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

【司会（愛知県政策企画局長）】

ありがとうございました。

本日の出席者の御紹介につきましては、本来であれば、出席者の皆様をお一人ずつ御紹介すべきところでございますが、時間の都合上、お手元の出席者名簿にて代えさせていただきます。

それでは、ここからの議事進行につきましては、会長であります大村知事をお願いいたします。

<議題>

【愛知県知事】

それでは、議事を進めます。それでは、まず、議題の「ジブリパーク構想地域連携協議会の取組についての検討状況と取組実績について」事務局から説明してください。

【事務局（愛知県政策企画局ジブリパーク推進課）】

愛知県ジブリパーク推進課長の橋本でございます。それでは、私から資料1「ジブリパーク構想地域連携協議会の取組についての検討状況と取組実績」について御説明申し上げます。

まず、お手元の資料1の1枚目、A4サイズの資料を御覧ください。「1 ジブリパーク構想地域連携協議会「運営会議」の開催状況」でございます。協議会につきましては、2019年12月の発足後、その調整機関として運営会議を設置し、協議会として取組を進めるべき次の4つの事項「(1) 周辺地域の魅力向上・活性化、集客に向けた魅力発信」から「(4) その他協議会の目的達成に必要な事項に関する事」までについて、昨年3月、7月、12月の3回にわたり協議を進めてまいりました。

本日は、そこで取り纏めた検討状況等について御説明申し上げます。2枚目のA3資料を御覧ください。先ほど説明申し上げました、協議会が取り組むべき4つの事項に係る具体的な取組についての検討状況と取組実績についてまとめております。

初めに、(1) 周辺地域の魅力向上・活性化、集客に向けた魅力の発信でございます。「ア 愛・地球博記念公園周辺の観光施設への周遊促進」として、aからcの3つの取組を進めてまいります。まず「a 観光情報の発信」について、2021年度新規事業として実施する「ジブリパーク周遊観光促進事業費」において、来場者の属性データなどを観光事業者等に提供するシステムを構築するとともに、「b ジブリパークを活かした周遊観光の調査・検討」として、「周遊観光の促進に関する調査」、「周遊観光ルート、旅行商品等の検討」などを進めてまいります。

また、東部丘陵線連絡協議会において、ジブリパークの開業効果を広くリニモ沿線地域に波及させるため、リニモ沿線や沿線を拠点とした広域観光モデルルートを作成

する予定としております。このほか、瀬戸市において、あいち海上の森センターの活用を検討しております。さらに、「c 周遊シャトルバスの運行」については、協議会内で引き続き検討しており、まずは、県において公園内及び公園付近に、シャトルバス等のための乗降施設の設置を検討しているところでございます。

続きまして、「イ 愛・地球博記念公園内の周遊観光施設の情報提供、地場製品のPR」でございまして。「a ジブリパーク及び関連公園整備における県産材・地場製品の活用」として、ジブリパーク及び愛・地球博記念公園の整備において県産材・地場製品の活用を進めているところであり、木造建築物においては木材、建物の内・外装等においては県産のレンガ・タイル・瓦などについて、それぞれ県産材を積極的に活用し、良質な愛知の資材・製品等を広くPRすることとしております。また、「b 地場産業品の展示・販売スペースの設置」として、公園北口及び西口に整備される案内所・休憩スペースと、北口に整備される売店において、展示・販売スペースの設置を検討しているところであり、具体的な内容について、今後、県において株式会社スタジオジブリ及び株式会社ジブリパークと調整してまいります。一枚おめくりいただきまして、イの続きでございまして。「c 総合案内所等におけるパンフレット等の設置」として、先ほどの北口総合案内所及び西口案内所にパンフレットラックを設置するほか、公園北口及び西口に設置するデジタルサイネージによる地域情報、観光情報の提供を予定しております。また、「d 市民活動などにより製作したベンチやイスを設置」という提案もあり、これについては、協議会内で引き続き検討してまいります。

続きまして、「ウ 周辺市等の魅力度アップ」でございまして。「a PR動画の作成」として、先ほどの「ジブリパーク周遊観光促進事業費」のなかで、「ジブリパークのある愛知」をイメージしたデザインや動画をスタジオジブリの監修により制作する予定です。このほか、「b 宿泊施設の整備」として、瀬戸市におきまして、(仮称)ホテルルートイン尾張瀬戸駅前の誘致などを進めているところです。「c 植樹等による緑化の推進、散歩道の整備」については、各構成団体が管理する道路、河川などにおいて検討を進めているところです。さらに、「d その他」ですが、日進市におきまして、道の駅「(仮称) にっしん」整備事業を進めているところであり、ジブリパークとの連携による道の駅の賑わいの創出などを検討してまいります。

続きまして、3ページを御覧ください。「(2) ジブリパークへの玄関口となる藤が丘駅等のまちづくりや賑わいの創出」でございまして。まず、「ア 藤が丘駅周辺の賑わいの創出」についてです。「a 藤が丘まちづくり協議会等との連携」については、昨年11月に、藤が丘中央商店街振興組合及び藤が丘まちづくり協議会において、「ジブリパークを応援しよう」と銘打って「藤が丘大文化祭」が開催され、ジブリ音楽の演奏やパネルの展示を行ったところです。本協議会としては、今後も、地域情報の発信やジブリパーク開業に向けた機運を地域全体で盛り上げていくための催しなどに対する支援をしてまいります。「b 藤が丘駅及び周辺施設の改修」では、名古屋市交通局において名古屋市営地下鉄藤が丘駅のトイレの洋式化、内装の改修等のリニューアルの実進を進めており、このほか、名古屋市では、駅前花壇の改善、バス停上屋の改修の検討、リニモス広場のあり方の検証などを進めております。

次に、「イ リニモ各駅とジブリパークとの一体感の創出」でございます。「a 駅構内等におけるジブリパークのバナー、ポスター等の掲示」については、現在、協議会内で具体策を検討中です。「b 駅構内や駅前広場における歓迎装飾の実施」については、豊田市、愛知環状鉄道株式会社においてそれぞれ具体策を検討しており、今後、県において株式会社スタジオジブリ及び株式会社ジブリパークと調整してまいります。

次に、4ページを御覧ください。「(3) 交通アクセスに係る総合的な調整」でございます。まず、ア) 公共交通機関の利用促進として、「a リニモ等公共交通機関利用者への特典付与」を検討するとともに、「b WEB・パンフレット等によるPR、利用促進イベントの開催など」として、ジブリパークやモリコロパークのPRパンフレット等において公共交通機関の利用を呼びかけ、さらにジブリパークを絡めたリニモ沿線でのウォーキングイベントなどの開催を検討しているところです。「c M a a Sの導入による利便性の高い移動サービスの提供に向けた実証実験の実施」については、来年度新たに「M a a S実証推進事業」を予定しており、名古屋東部丘陵地域において、地域公共交通などの移動手段と多様なサービスを組み合わせたM a a Sの導入に向けた実証実験を行ってまいります。

最後に「(4) その他協議会の目的達成に必要な事項に関すること」として、おもてなしボランティアや通訳ボランティアの活用に向けて、調整してまいります。また、「イ ジブリパークのPRとパークを核にした地域の一体感の醸成」として、「a 協議会会員が活用できる周知グッズの作成」を行う予定で、まずは「名刺への応援メッセージの記載」を行ってまいります。「サツキとメイの家」の写真と応援メッセージを構成団体の職員の名刺に入れることで、ジブリパークをPRするとともに、パークを応援する地域の一体感の醸成を目指してまいります。

なお、参考資料として、今年2月3日に発表させていただきました、来年度の「ジブリパーク整備」及び「公園・道路など関連施設整備」の内容、及び「リニモ沿線地域づくり重点プラン2021-2025」をお手元に配布させていただきましたので、御参考にしていただければと存じます。

わたくしからの説明は以上です。どうぞよろしく願いいたします。

【愛知県知事】

はい。以上、事務局から説明がありましたが、本議題に関して、何か御意見、御質問等がございましたら挙手の上、御発言をお願いいたします。特に各構成団体の取組について追加の説明、コメントがあれば積極的にお願いします。

はい。それでは堀場副市長。

【名古屋市副市長】

名古屋市副市長の堀場でございます。今回の本協議会におきまして、名古屋市の主な取組としてジブリパークの玄関口のひとつである藤が丘の魅力を高めることと認識をしております。

藤が丘の街自体は昭和40年代に区画整理があり、次の転機がやはり2005年の愛・地球博の時でございます、その時に今のリニモス広場などが整備され現在に至っております。

今回、2022年においてジブリパークが開業することは、藤が丘におきましても、また、名古屋市にとっても東部の方面の非常に重要な転機と捉えております。ですので、今回資料の方にまとめていただきましたけれど、こういったすぐ出来ることについては順次着手してまいりたいと思っておりますし、加えまして、その後の藤が丘駅地域全体の周辺を含めたエリアの魅力をお届けできるまちづくりというものを進めていきたいと思っております。藤が丘自体は周りが老朽化したURの集合住宅がかなりあります。少し時間のかかる取組でございますけれども、そういったものの建て替えを契機にして、玄関口として非常に魅力ある街にしたいと思っております、地元においても藤が丘まちづくり協議会が発足しております。

こちらの方もいまちょうどまちづくり基本構想の策定に向けて、少しスパンの長い話も含めて、URさんも含めて分科会を開催しております。私どももこの活動に参画して、構想の作成に協力して実現していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

加えまして、ジブリ作品を利用したPRについて色々な調整があつて、ハードルの高いことだと伺っておりますけれども、もし実施できることがあれば私どももしっかり協力したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。愛・地球博の理念で、ジブリの世界観に共通した「自然の叡智」をしっかり発信していく必要があると思っておりますので、愛知県を始めこの協議会に参加する皆様と意見交換しながら、引き続きジブリパークを活かした地域の魅力向上にしっかり努めまして、藤が丘に訪れた3度目のチャンスとして大いに活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【愛知県知事】

ありがとうございました。何と言っても藤が丘はジブリパークの玄関口でありますので、また是非よろしくお願いいたします。それでは伊藤市長さん。

【瀬戸市長】

瀬戸市の伊藤でございます。いつもお世話になっております。タイトなスケジュールでしっかりまとめていただき、まずもって感謝申し上げます。

資料の1ページ目でございますけれども、(1)のア、その真ん中のところに「ジブリパークを活かした周遊観光の調査・検討」、あいち海上の森センターの活用というところで動いてみました。3月13日に、海上の森センターの場所で自治会、まちづくり協議会、それからほたるの会、それからモリコロの川プロジェクト、そんな団体がありまして、集まっていろいろ議論してまいりました。

今日冒頭で知事の方から、2025年愛知万博20周年記念、大変夢のある話をいただきました。心強く思っておりますが、拝見しますと、ちょうど5年前の平成28

年の3月に海上の森保全活用計画2025というものが策定されていまして、ちょうど5年経つわけでございます。この中に保全というものが本当に見事に細かなところまで御配慮いただいておりますけれども、私どもの協力が足りなかったところがあったかも分かりませんが、活用という部分では、いささか欠けていると率直に思いました。

そこで、5年経ちましたので、この海上の森保全活用計画2025を中間地点で見直しをしながら、是非いま申し上げました団体も入って、純粹に活用計画の中にアイデアあるいは諸々の意見も取り混ぜて、より広域的なジブリインパクトを地域のまちづくりにも活用していくということについて、是非お聞き届けいただきたい。こういう心でございます。以上です。

【愛知県知事】

それもまた大事な話なので、しっかりやっていければと思います。それでは、太田市長さん。

【豊田市長】

4ページのM a a Sの件ですけれども、この記述を見ますと、名古屋東部丘陵地域を対象に実証実験とあるのですが、前回もお話しさせていただいたのですが、一般道を利用されることが想定されてしまって、それに伴う渋滞がとても深刻な課題だと思っているのですけれども、その具体的な対応策としてM a a Sというのはとても有効だと思います。

非常に難しいとは思いますが、これを名古屋東部丘陵地域だけに限定した実証実験に留めるというよりも、やはりその鉄道、豊田市でいえば愛知環状鉄道、それから名古屋鉄道、名古屋側から見れば市営地下鉄といったものも、幅広にM a a Sの実証で取り組んでいただけると、公共交通あるいはカーシェアリングといった仕組みも含めて色々な形でこれからできると思いますし、おそらくM a a Sを導入しようとする、余程このジブリ（パーク）ぐらいの起爆剤がないとたぶん踏み切れないのではないかと思います。

是非これを機会にM a a Sがどこまでできるのかということ幅広で議論をしていただけるとありがたいと思います。

【愛知県知事】

M a a Sはまたしっかりやっていきますので、引き続き皆さんと取り組んでいければということでもよろしく願いいたします。ありがとうございました。それでは近藤市長さん。

【日進市長】

日進市、近藤裕貴でございます。今日はありがとうございます。先ほども事務局の方から説明いただきましたけれども、本市からは道の駅の整備を説明させていただき

ます。

今回、ジブリパークに関しては、パークの周辺の自治体の賑わいということを知愛県が色々意識をさせていただいて、こうしてお声がけをいただいているということで、まずもってその件に関しまして感謝申し上げます。

道の駅でございますが、私どもが事業を推進しておりますこの道の駅は、市民の皆さんが集って、賑わい、成長して、都市をデザインするような道の駅を整備構想に掲げております。

当然、従来の道の駅の機能を基盤に本市の個性や特性、大学や市民自治活動などの地域活動を活かした地域課題の解決、それからこの、まちづくりに向けた地域活性化の拠点として非常に期待をしているということで、こういった施設の整備をさせていただいております。情報発信拠点でもありますので、この地域資源であります「ひと・もの・こと」、こうしたものの魅力を発信していきたいと考えております。

また、南北方向の交通軸として、瀬戸大府東海線（県道57号）というのがございます。長久手市、それから本市を挟みまして、東郷町まで集客力のある施設が結構ここに今ありますよということで、これら施設の集客力を活かして、本市の方にも、南の方にもちょっと立ち寄りたくなるような観光施設を整備していきたい。すなわち、北の方からジブリパーク、長久手の古戦場、おしゃれなカフェが建ち並んでおります竹の山エリア、日進ですね、岩崎城だとか、道の駅、あるいははららぼーと愛知東郷といったような南北方向にも繋がりのある観光施設、こういった展開を今検討していきたいと思っております。

また、こういったジブリパークとの連携で、賑わいの創出に繋げていきたいというのが私の思いですが、高速道路の東郷パーキングエリアに、今、(仮称)東郷スマートインターチェンジの整備を進めておりますので、そういった交通の別ルート、リニモ以外の別ルートも、こういった交通に関しても、何か私どもも関連して寄与できるのではないかと考えております。

以上でございます。

【愛知県知事】

ありがとうございます。それもまたしっかり連携してやっていければと思います。それでは吉田市長さん。

【長久手市長】

長久手市の吉田でございます。いつもお世話になってありがとうございます。私の方からは、いつもお願いをしておりますけれども、ジブリパークが本市にできますけれども、まち全体がジブリパークシティになると思って、ジブリパークだけでなくジブリパークがある本市にも一緒に皆さんに来てもらえる、そういうまちの環境をつくりたいと思っております。

この中で今思っていますのは、ジブリの精神が感じられるまちにしていきたいということです。

一つ目は、暑い暑い長久手なので、もっと全体に木陰を作りたいということで、歩いてもらえる道路にさせていただく。県の河川にしても、もうちょっと大きな木を植えたいと思っており、木陰があって、まちも歩いてもらえるという感じになります。

二つ目は、街路樹の根元にある低木部分のこと。これについては管理に予算がないと思いますから、例えば、街路樹の下の低木の部分を、アダプト制度で私どもに貸してもらい、市民に3メートル間隔ぐらいで貸す。グリーンロードを通っていくと、大根はある、人参もあるぞ、キャベツもあるというような、もっとジブリらしいまちにしたいと思っています。交通上の色々な問題はあってもいいかもしれませんが。歩くことが楽しくなるようなまちを、藤が丘にお着きになられた皆さんが、リニモに乗らずにこのまちの田園風景や素晴らしいせせらぎのある香流川沿いを歩くというようなもので歓待をする。そして、ジブリパークに入る前に、ジブリのイメージが浮かぶというものにしたいと思っています。是非、歩く人のために大きな木を植えさせていただけるような御指導をしていただければと思っています。

三つ目は、看板。インターチェンジを降りたり、高速道路を通ると、大きな看板が目につくので、これを規制等の何か良い方法で小さくしたり、ジブリの雰囲気を感じられる小さなものに変える等の工夫をして、長久手に入った途端にジブリが感じられるようにしていきたい。

そうすることで、2000ヘクタールの本市全体をジブリパークシティにしていき、ジブリパークだけで慌ただしく帰ってもらうのではなく、穏やかな気持ちで癒やされる気持ちを味わっていただきたい。

リニモもおそらく満員になりますので、むしろ歩きたいと思ってもらえるまちに、まち全体で歓待をするようなことで、もっともっとジブリ（パーク）を盛り上げていきたいと思っています。力添えを、知事に是非、お願いをしたいと思っています。ありがとうございます。

【愛知県知事】

ありがとうございます。吉田市長さん、前々から木のことをお話していただいておりますが、また、具体的に、個別によく相談させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。それでは次の御質問や御意見はいかがでございますでしょうか。よろしいですか。はい、それでは愛知環状鉄道さん。

【愛知環状鉄道(株)社長】

愛知環状鉄道でございます。資料の3ページの下に記載させていただいておりますが、愛環の八草駅はジブリパークの東の玄関口でございますので、駅に降りた時点でジブリパークに近づいたことを感じていただけるような歓迎ムードを醸成していきたいと思っています。資料に記載しておりますが、こうした取組は当社だけではできないものもございますので、県でスタジオジブリと調整していただくなかで検討を深めてまいりたいと思っています。

また、資料にはございませんが、当社としましてはジブリパーク来場の後にリニモ、

愛環を經由して瀬戸市や豊田市始め愛環沿線市の観光地を周遊していただけるような取組を沿線市の方、観光協会の皆さんと連携して取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

【愛知県知事】

ありがとうございました。それでは愛知高速交通さん。

【愛知高速交通(株)社長】

リニモの社長の丹羽でございます。ジブリパークという素晴らしい事業が進んでおりますけれども、私ども公共アクセスを担う立場といたしましては、お客様が混乱することなく、安全に、またスムーズに利用していただくことは大きな責務であると思っております。利用者の方々が大幅に増えるということを念頭に、対応の検討を関係市の皆様方と協議、調整をしっかりと図って鋭意進めたいと考えております。多くのお客様にリニモの利便性は高いと、遠くからわざわざ来ていただく方にリニモの利便性は高いと認識していただけるよう力を注ぎたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願申し上げます。

【愛知県知事】

ありがとうございました。その他何か追加で御意見等ございますでしょうか。御意見等ないようですので、次に、ジブリパークの開業効果の活用に係る観光面での本県の取組を紹介させていただきたいと思っております。それでは、観光コンベンション局から説明してください。

【事務局(愛知県観光コンベンション局観光振興課)】

観光振興課担当課長の多田と申します。資料2「あいち観光戦略2021-2023」とその中のジブリパークを活かした周遊観光に関わる内容について御説明申し上げます。スライド「1 基本的な事項」を御覧ください。この戦略は昨年12月に策定したもので、観光関連産業の振興を目的としております。計画期間は、2021年度から2023年度までであり、ジブリパークの開業効果を活かした観光振興の取組についても、この戦略に沿って進めてまいりたいと考えております。

スライド「2 取組の方向・目指すべき姿」を御覧ください。旅行者のニーズへの対応と観光の高付加価値化、競争力の向上に向けて目指すべき姿としまして、あいち「ツウ」リズムを推進し、独自の強みを発揮する「観光県」を掲げております。あいち「ツウ」リズムについては、後ほど説明いたします。

スライド3を御覧ください。目指すべき姿の実現に向けて、資料にございますとおり4つの「基本的な方針」に沿って、施策を実施してまいります。

スライド4を御覧ください。この戦略の施策の柱でございます。ジブリパークを活かした周遊観光に関する内容といたしましては、①あいち「ツウ」リズムの推進における愛知ならではの「ツウ」な魅力の向上、効果的なPR・プロモーション、そして

③観光交流拠点としての機能強化の内、周遊観光・広域観光の推進がございます。

それではページをおめくりいただきまして、スライド5を御覧ください。あいち「ツウ」リズムはこの戦略の目指すべき姿に掲げるもっとも重要なテーマであり、愛知ならではの地域資源を磨き上げ、的確なマーケティングにより、観光コンテンツとして高付加価値化を図っていくものです。スタジオジブリの世界観を表現した唯一無二の公園施設であるジブリパークも「ツウ」な魅力のひとつとして大変強力な観光コンテンツとなります。あいち「ツウ」リズムの推進には、県や市町村、観光関連事業者等が連携して「ツウ」な魅力を活かした旅行商品を造成し、効果的にPR・プロモーションを行っていくことで、国内外から旅行者を呼び込み、周遊観光に繋げていくことが必要であると考えております。

スライド6を御覧ください。県や市町村、観光関連事業者等の連携について御説明します。本県がJRグループの協力を得て、2017年度から3年間に亘って実施しました愛知デスティネーションキャンペーンにより、県内の観光関係者が一体となって観光誘客に取り組む体制が構築されました。この体制を継承し、さらに発展させていくため、愛知・名古屋観光誘客協議会を昨年3月に設立しました。この協議会を中心に、交通事業者や観光関連事業者とも連携して、県内の旅行者のPR・プロモーションや周遊観光の促進に向けた新たな旅行商品の造成等に取り組んでおります。この連携の枠組みを愛知観光プラットフォームと呼んでおり、ジブリパークを活かした周遊観光にも活用してまいります。

次に、ジブリパーク周遊観光促進事業について御説明します。スライド7を御覧ください。ジブリパークの開業効果を活用して、周遊観光に誘導していくため、デジタルの活用、ブランド化、連携の強化の3つの内容で取組を推進してまいります。ブランド化につきましては、ジブリパークを活かして本県の観光のブランド力を強化するため、スタジオジブリに監修を依頼して、「ジブリパークのある愛知」をイメージしたデザインや動画を制作し、県、市町村、観光事業者等が行う観光誘客の取組に使用できるようにいたします。連携の強化につきましては、先程御説明した愛知観光プラットフォームの枠組みを活用して取り組んでまいります。デジタルの活用については、次のスライドで説明させていただきます。

スライド8を御覧ください。ジブリパークの来場者に対し、観光関係事業者がデジタルを活用して効果的に情報発信を行うための仕組みを構築いたします。ジブリパークのチケットを販売する事業者と連携し、来場者の年齢、性別、居住地といった属性や趣味・嗜好等のデータを活用して、観光関係事業者等がターゲットに対して、的確にインターネット広告を配信し、システムを構築します。具体的にはチケット購入者に対して、観光事業者が自社の製品やサービスをメールで紹介したり、チケット販売サイトの画面上に希望する事業者がリンクを貼り、チケット購入者を自社のウェブサイトへ誘導できるようにしてまいります。チケット販売サイトの画面は、来場者が必ず見ることから、宿泊施設の紹介や、周辺観光地のPRに有効ではないかと考えております。システムの設計はこれからとなりますが、来場者の年齢、性別、居住地、趣味、嗜好等を分析して、広告の効果を高めていくものとするよう検討してまいります。

なお、来場者の属性データは統計としまして、市町村や観光事業者の方に提供することを予定しており、取組の参考にしていただけたらと考えております。説明は以上となります。

【愛知県知事】

ありがとうございました。ただいま観光コンベンション局から説明がありましたが、県としてもジブリパークの開業効果を県内に広く波及させるため、今後、観光を含めた様々な分野においてしっかりと取り組んでまいります。

それではこれも含めて本日の議事は以上でございますが、ジブリパーク及び関連の取組につきまして、さらに御意見等があればお願いしたいと思っておりますが、いかがでございますでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。

これまでジブリパーク構想地域連携協議会や運営会議で議論していただきましたことをひとつひとつ具体化してまいりますので、関係部局からまた皆様に相談させていただきますので、引き続きよろしくお願いたします。

そして、また観光戦略でしっかりやっていきたいと思っております。とにかく、コロナが収まれば、これは相当今まで我慢してきた分だけバーンとなりますので、期待をしておりますし、そのためには、皆さんがそれぞれワクチン接種を、その計画づくりにご苦労いただいていると思っておりますが、一体となってしっかりと取り組んでいきたいと思っております。そして、ポストコロナに向けて様々な仕掛けをしていきたい。その中で一番の大きな切り札がこのジブリパークだと思っておりますので、今後とも何卒よろしくお願いたします。

本日は第2回目の協議会でしたが、皆様からのお声を受けとめ、しっかりやってまいりますので、引き続きの御協力をよろしくお願いたします。

それでは、進行を事務局に返します。

<挨拶>

【司会（愛知県政策企画局長）】

以上をもちまして、「第2回ジブリパーク構想地域連携協議会」を閉会させていただきます。

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございました。
以上